

# Dark Moonlight



悠理愛













ああ…すぐに帰るよ  
おまえの心の花を  
もぎ取ったらね



おやめなさい…!!  
貴女はその気持ちは  
何も生まないわ…!!













うおおおお!!



んんんんん...



んく...







.....

んうあ...っ！





んっ……っ

く…

///



フフ…  
私のつま先が  
感じたよ…!!

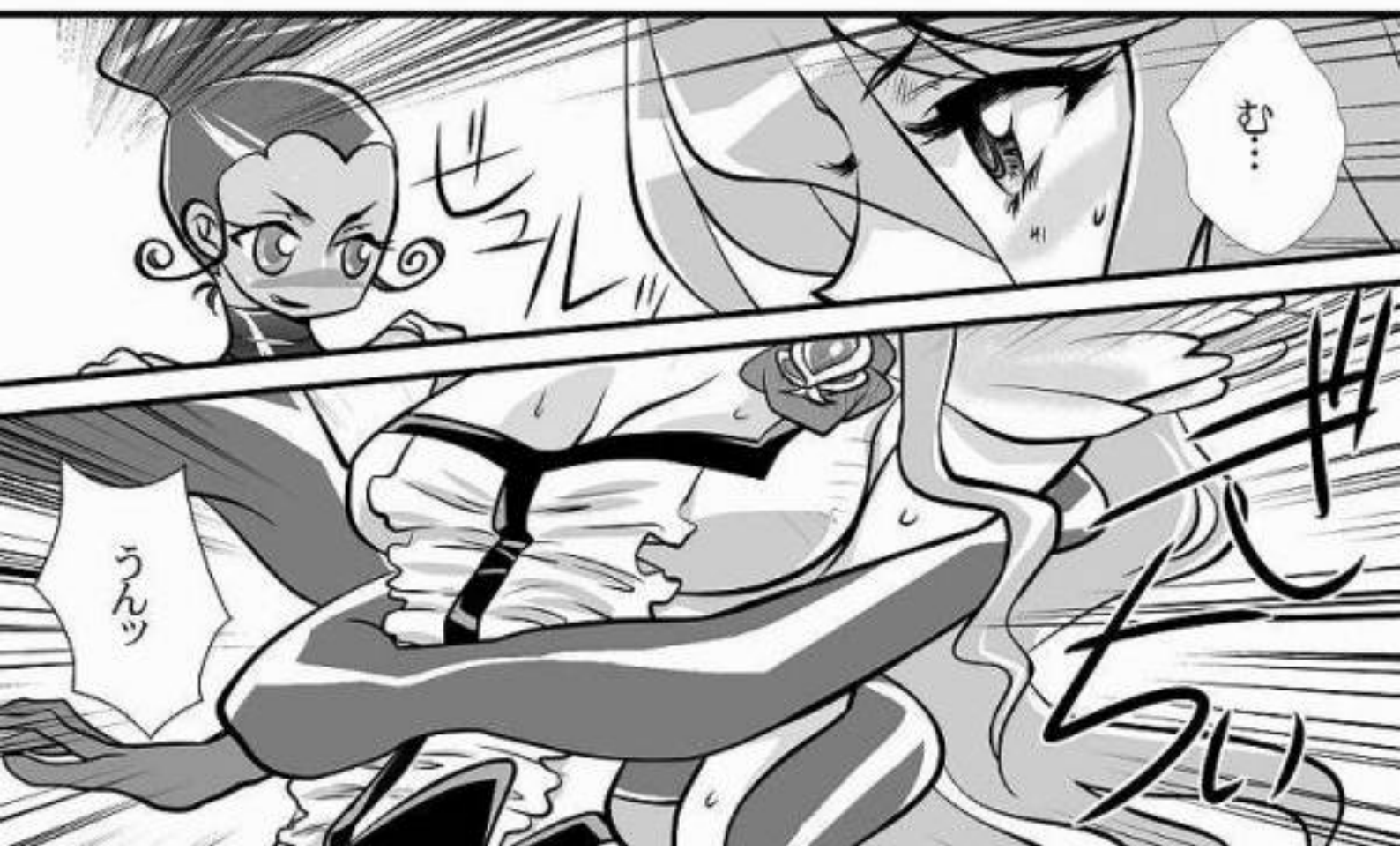
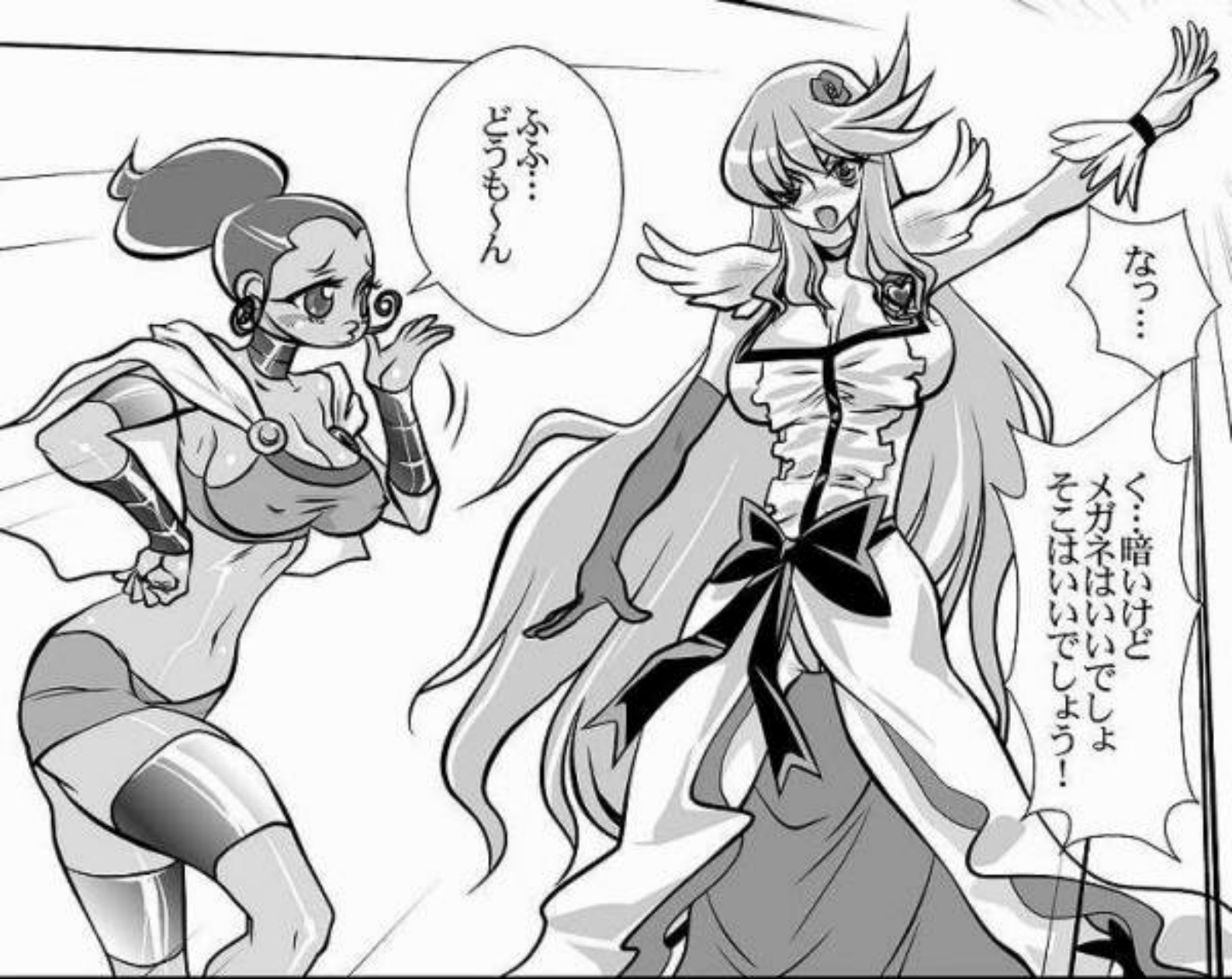
お前の中にもある  
後ろ向きな心をね



わ…私は貴女のように  
破壊を望んだり  
していないわ…!!

普段は  
こんな  
メガネで

無口で暗い  
女なのだろ!







んんうっ  
ああ!!



く……!



おい  
余計なことを  
するな!

フン!  
仕留めんのは  
あたしよ!!



あん

根暗しや  
ないツ!





ほらね…  
だからいいじゃないか  
無理をしなくても

自分の中の後ろ向きを  
否定しないほうがいい  
気持ちが楽になる  
そういう人間同士だろ



な…  
なにを…!





ん…あ…あつ



ち…力が  
まるで  
入らない…!

なに…

ああ

心の花は正直なんだな  
本当のことを言われて  
震えているんだろ

本当はお前も  
暗いところでもじっと  
していたいのだろ

んうっ…  
む…うっ…

わかるよ…私もおまえを  
八つ裂きにしたい時以外は  
そんなふうだ

んあっ…  
そ…んな  
こと…ツ





くぅ…ああ

んあ!  
あ…ふッ

ほら…  
すごいじゃ  
ないか!

お前の心の花が  
激しく疼いて  
いる

独りで静かにして  
いたい…そんな  
叫びだ



この震え…!!  
わたしもとても  
心地が良い…!!

ふあ

く…ああッ…  
わ…私は  
そんな…っ!

ち…力が…が  
まったく入らない  
…！

そ…それに  
こんな…に  
息が…苦しい

ん…ふっふっ…

むしろ私に近い  
影のようですね

おまえは…  
あの赤や青のように  
脳天気にはしゃげる  
ような人間ではない

無垢な光で  
眩しく輝いている


その通りよ…  
あの子たちは  
無垢だわ






確かに…そうだわ  
あの子たちが輝くから  
私がいるのかもしれない

私自身は…  
あんなふうには  
なれないかも



私が暗い心を持つてるのは確かだわ…

でも  
光は素晴らしいわ  
輝きは力をくれる



どうかしらね！

ん…あ！

そう言いながら…  
実は嫉妬に悶えて  
隠れたいのだろ？



吸いつくぞ……！  
抵抗どころか  
その逆じゃないか

うっ……ん

あ……んっ……！





こんななに熱くなつて…  
先が硬くなつて…  
フッフ

んふっ…  
はうっ

ああん…っ



いざあっ

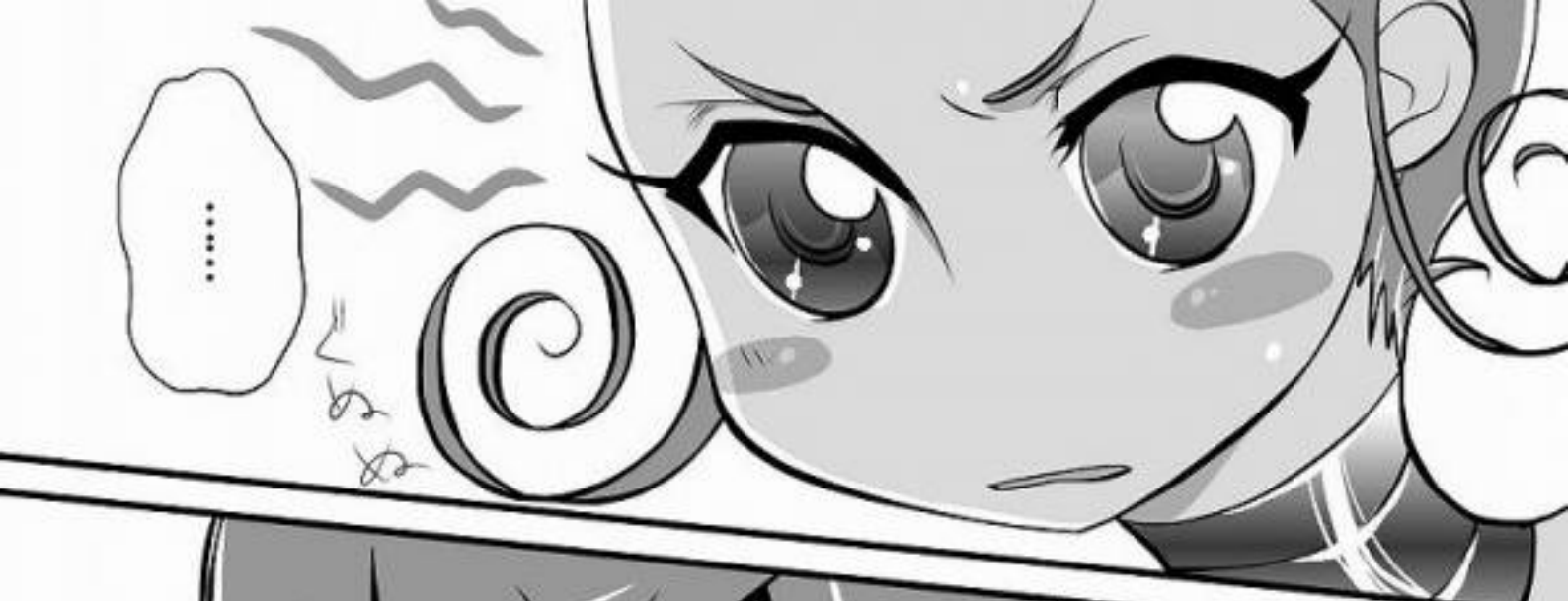
何を  
いちやいちや  
してんのよう

私の髪で  
やっつけたん  
だからねっ!

見ろ…  
脳天気で  
空気を  
読まない

違つたら  
私たちと





.....



.....

・おまえも  
まざるかい



え

い...  
いいけど

ま...?

いいんじゃない



あぁ  
んっ…

あぁ…

きれいなお肌ねえ  
やつぱり…



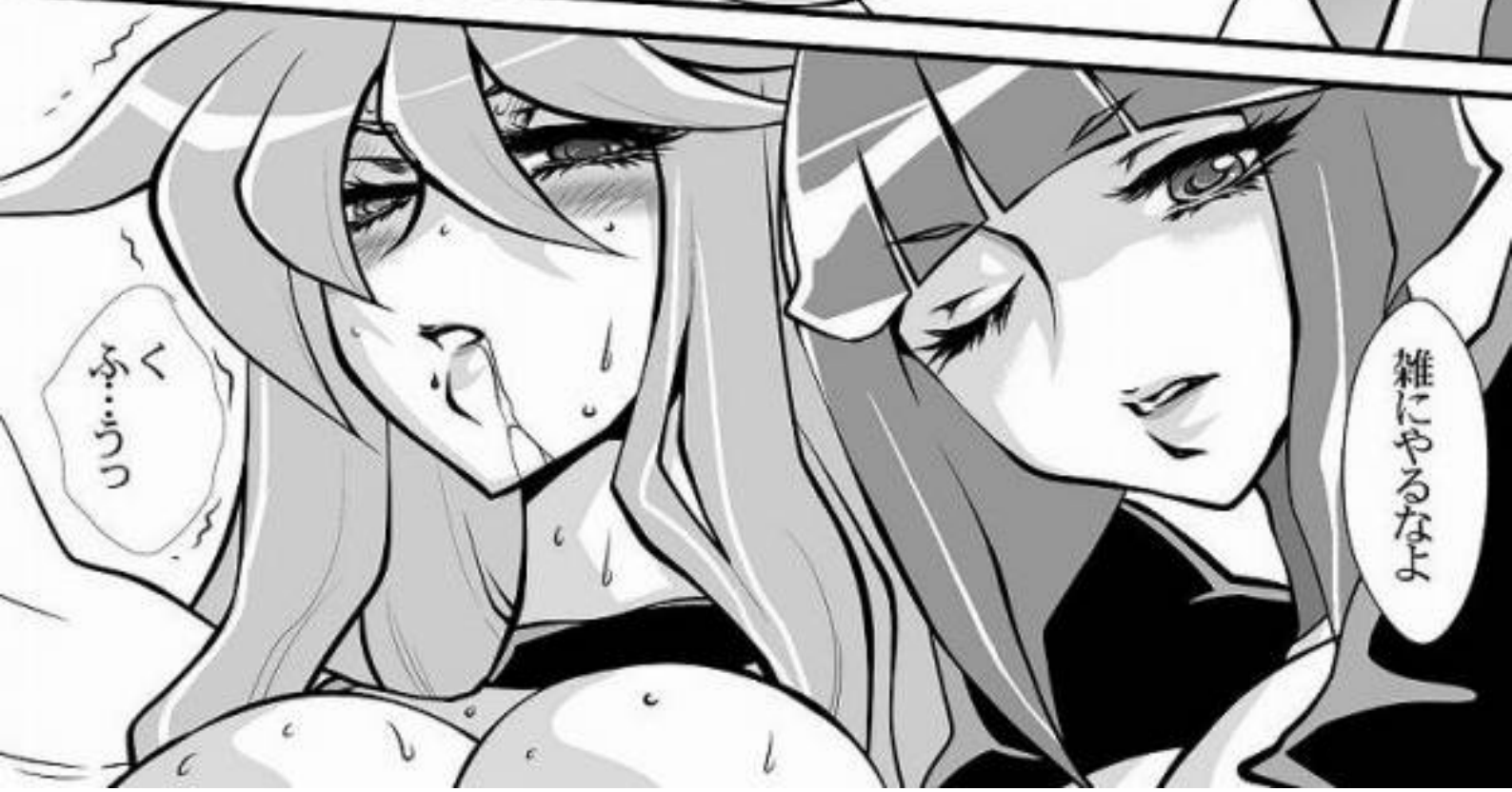


じゅわん

ふ...じゅん



ほんと綺麗  
なめてあげたく  
なるわねえ



く  
じゅん...

雑にやるなよ



ん...あじい


いい胸だ...  
フフフ

370







自分の心の花に  
正直になればいい  
独りでいるのが  
心地良いのだろ




あゝあなたの  
ようには…  
ならないわ



ならなせ  
関わらない



なすがままに  
脱がされていて  
いいのか



あうんっ

嘘を言っ  
ているの  
は口ほう  
だな

くはあ  
んうっ！





ほんと…  
無垢なパール  
のようだよ

あふあ…  
ううんッ!

んふっ!



これも…あたし達の  
ように黒い砂漠に  
なっちゃうのよねえ

んふッ  
んふッ  
んふッ

おふっ  
んふっ!



あたし達?  
おまえは根が  
明るいじゃないか

むしろあの青いの  
に近いんじゃないか?  
おまえは

まっ!  
なくによ  
それ!

そんなわけ  
ないわよ

あんな  
ちんちくりんで  
アホでバカで







えりかだって  
哀しみを抱えて  
いるのよ……!!

む……う

ただそれを表に  
出さないだけ



だけど……  
わかった気がする

私と貴女は  
似ているのね

私は決して  
貴女のように  
なりはしない

だけど……とても  
似ているんだわ  
何かが……奥のほうで



むっ…うっ

なんだろう…  
この胸の奥…

何かが私の芯で  
響いている…!!



んッ

むっ…ふ

うっ…うっ

なに  
か…体が

動かない



はっ…うっ…ん…むっ…うっ

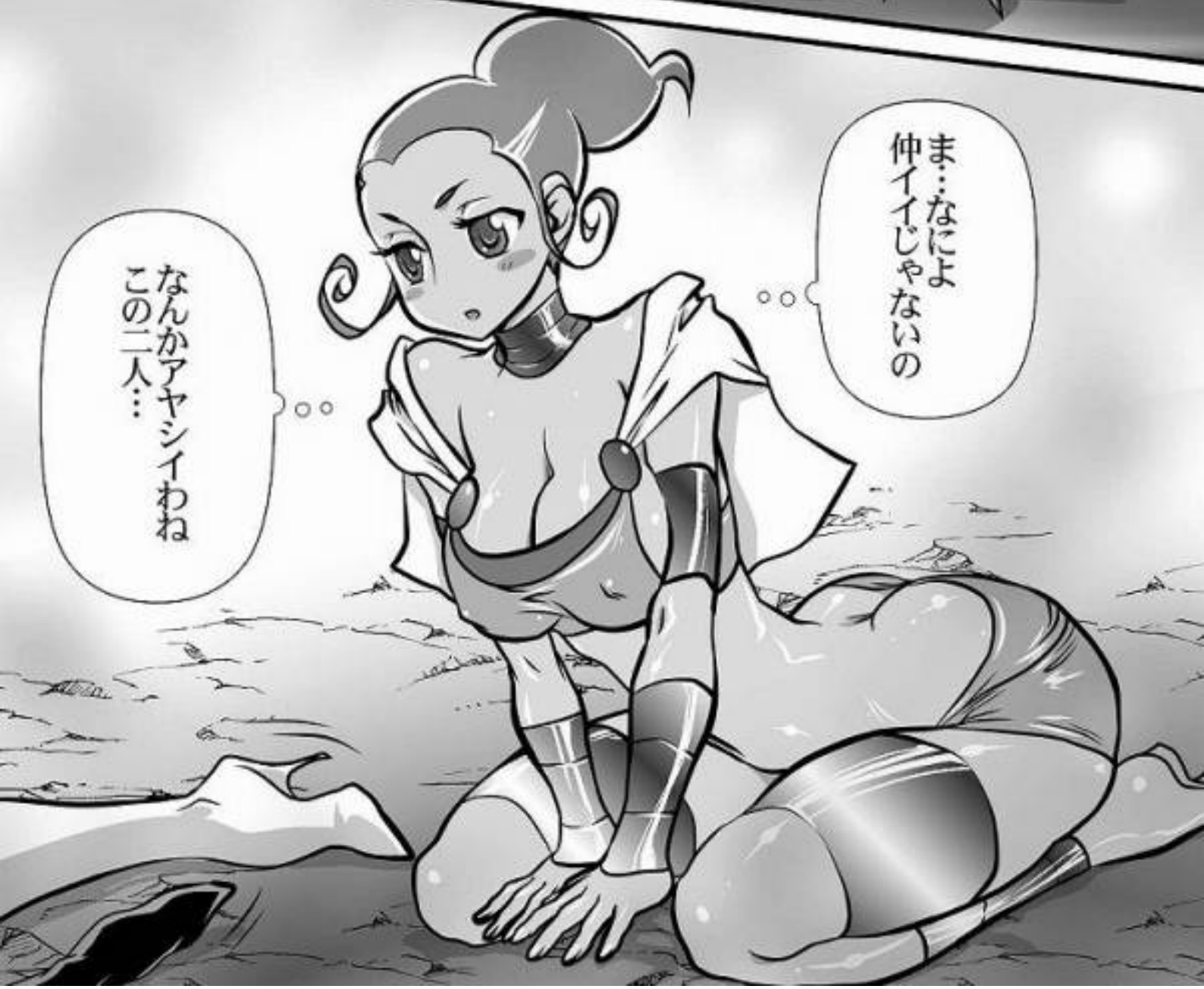
んん…

んむっ…ふっ…うっ  
あうっ…んッ!





んんあ…あ  
ああんツ…ああ



ま…なによ  
仲いいじゃないの

なんかアヤシイわね  
この二人…



や...めろっ!



なせだか...  
他人とは違う  
気がする...

貴女...  
貴女は...?



いいわ…  
正直に  
なるわ

戯れ言を！

今の私はあなたを  
抱きしめたい気持ちで  
いっぱいなの

なぜかしら…  
不思議ね



いいだろう

自分は闇こそが  
居心地が良い女だと  
わからせてやる

貴女と…  
私の心の中に  
ある

響きあう何かを  
知る…!!

わざわざ  
お着替えを  
するの!

私も!

えっ  
あら  
あら!













やっぱり…  
何かを  
感じるわ…

もう熱いぞ…  
ムーンライト



ん…

んふ…あ

ちゅ…  
ちゅ…



お...お...お...

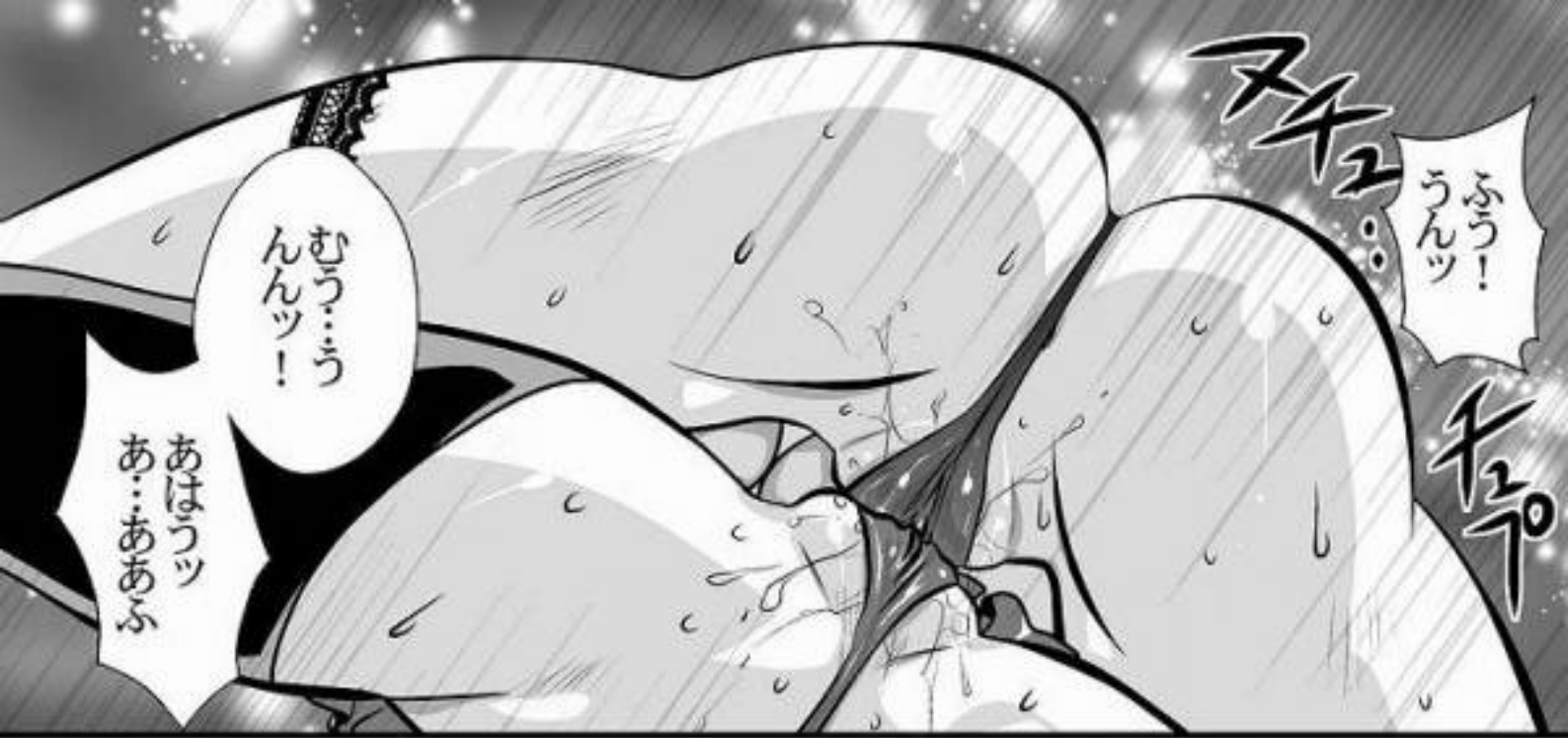
お...お...お...

うんっ...

お...お...お...

SC  
SC





むう…うんツ!

あはづツ  
あ…ああふ

アツク  
うんツ  
うんツ!



い…いいツ…  
芯から熱く疼いて  
とろけそう…!



うんツ!  
あ…あふ  
し…舌が

うんツ…うんツ

うふふふ  
すごく  
濡れてる！

いじっちゃう  
わよ〜！

んむあ…  
は…んあ！

ひじゅっ！





んッ!!

んうおろッ

あふ!  
おおッ

はふあ  
んあ!

ふあ

んうああ..  
や..ああおッ




カ  
ヤ

おふおじー!

おふおんッ

んはああ  
あふあ!





あ……貴女の声に  
芯が響く……!

響いて……  
芯が熱くなる



ん...ん...ん...ん...ん

ん...ん...ん...ん...ん  
ん...ん...ん...ん...ん

ん...ん...ん...ん...ん

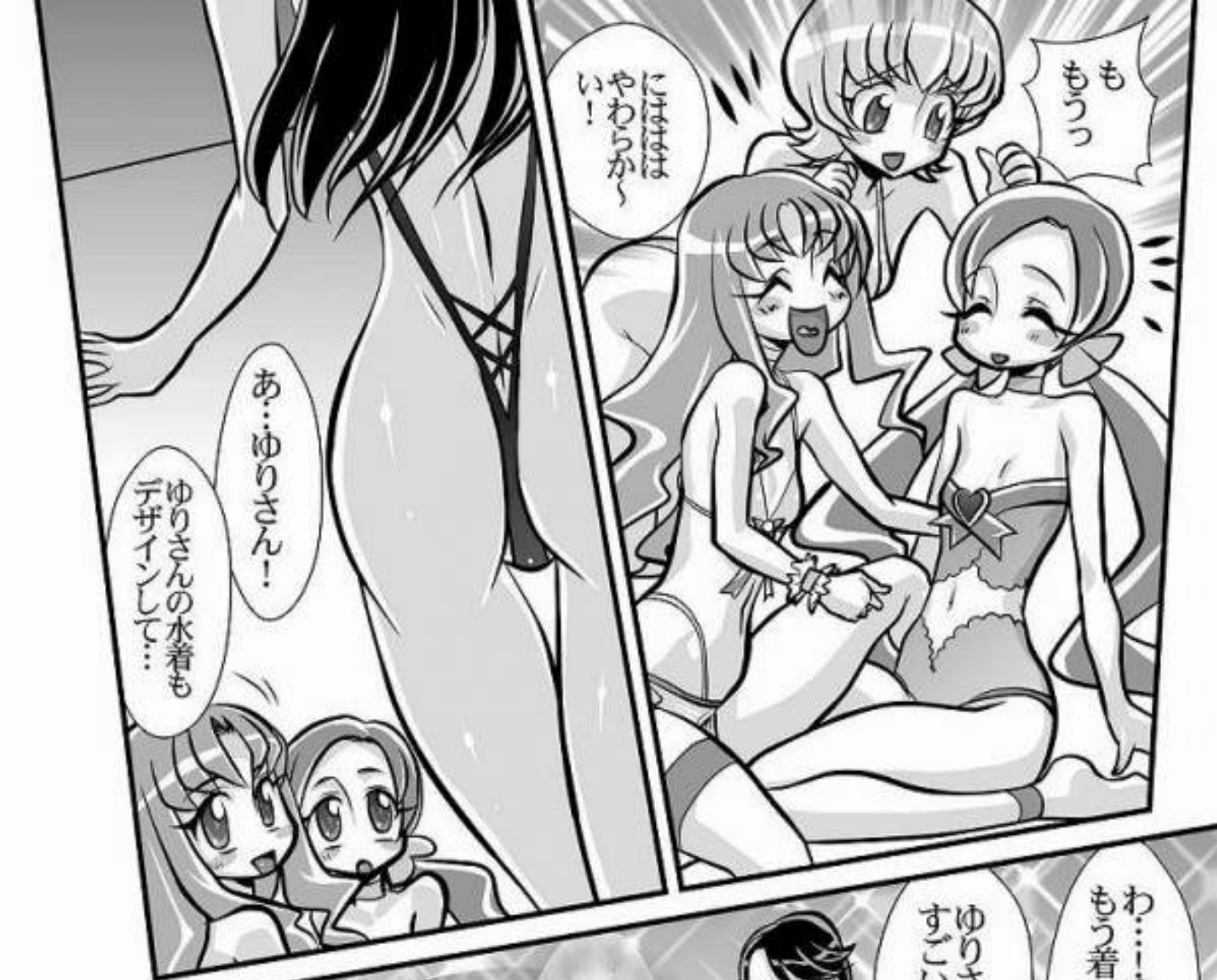












もも  
もも

にゅにゅは  
やわらか  
い!

あ…ゆりさん!

ゆりさんの水着も  
デザインして…



わ…ゆりさん  
もう着てる!

ゆりさん  
すごい!

すごいエ…  
セクシー!

みんな…  
可愛い

みんなを  
守りたい気持ちは…  
はっきりしてるわ



この二人…

闘うような  
関係じゃない  
ような気がした

イチヤイチヤ  
してればいいんじや  
ないのかしらねえ



ダークルーンライト



愛理感